

車両系建設機械による作業は事前に作業計画を

建設機械を現場に持ち込み、使用する事業者は(通常は一次請負者)、その機械を使用して行う作業について、事前に計画を作成し、作業に携わる者全員による打ち合わせが必要です
下記は、バックホウによる溝掘削工事の作業計画例です

11-③ 土留矢板内の掘削・積み込み・運搬(クレーン付きバックホウ、ダンブ)

工事名 _____ 工事 _____ 車両系建設機械・荷役運搬機械・移動式クレーン等作業計画書

平成 年 月 日
作成者 _____

元方委託	元方委託	責任者
経理	経理	

●作業場所の名称
●作業期間 平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日
●作業の種類
●作業場所の状況
●作業方法・機械の組合せ・積込みなどの配座・作業区域等作業計画の図面(平面図及び断面図)

役 職	名 前	必要資格	機 種	名 前	必要資格
バックホウオペ	B	(特) 操縦者(特許)	土止め工	B	(特) 土留
クレーンオペ	A	(特) 操縦者(特許)	ダンブトックオペ	F	(特) 土留
作業監督者	C	(特) 土留監督		G	
止めの工	D	(特) 止めの工	格納員	H (ダブトック)	

●機械・動力及び台数

機 種	名 称	能力	使用台数	用 途	使 用 期 間
クレーン付バックホウ		1.5t	1	掘削、土留	月 日 ~ 月 日
ダンブトック		4t	2	運 搬	月 日 ~ 月 日

●作業方法・内容及び安全対策
●作業区域の図面(平面図)の掘削防止等
●作業の完了後停止位置
●必要の台数の確保
●台数の不足
●作業の順序
●作業の順序
●作業の順序

機 種	名 称	必要資格	機 種	名 称	必要資格
移動式クレーン	コンクリートポンプ車	特許(特許) 操縦者(特許)	車両系建設機械	バックホウ	特許(特許) 操縦者(特許)
移動式クレーン	コンクリートポンプ車	特許(特許) 操縦者(特許)	車両系建設機械	バックホウ	特許(特許) 操縦者(特許)

この例のように、建設機械の配置場所と、立ち入り禁止区画の設置場所、誘導者の配置位置 資材・機材の置き場所や、作業に要する資格と、資格者の氏名等を計画に書き込んで 誰が見ても安全対策が図でわかるように、計画を作成しなければなりません。

- なお、作業計画を作成しなければならない作業は
- ・ 車両系建設機械を使用する作業(バックホウ、杭打ち機、ローラー、ホイールローダ等)
 - ・ 移動式クレーンを使用する作業(ユニック車、クレーン仕様バックホウを含む)
 - ・ 高所作業車もしくはフォークリフトを使用する作業
- などです、ただし同じ場所で2社以上がその作業を共同で行う場合には、計画を作成する責任は元請会社にありますので、当社が作成した計画に従って作業を行ってください。

新発田建設の安全ルール

S. 移動式クレーン、バックホウなどの車両系建設機械を現場に持ち込み、使用する場合には安全衛生法上事前に従い「作業計画」を作成する必要があります。作成にあたっての書式、作成例は当社現場担当者からも提供できますのでパソコン用のデータが、用紙を印刷するなどの方法で活用してください。
(CD-ROM形式の作例例集を担当者各自持っています)

